

第3章 わかりやすい技術文書を作成する ために

技 術者が作成する技術文書について、典型的な分類を行ってきました。これらをまとめてみると、技術文書の内容や形式と、それを作成する技術者の立場やポジションなどに相関が見られることがわかります。企業に所属するであろうたくさんの技術者が、そのキャリア形成において、企業内から企業の外を意識し始めるであろう管理職や経営レベル等の企画的な職種において、より一般的な、すなわち非定形的な技術文書の作成が求められるのです。

また、技術者として、より責任ある層や、創造的な能力が求められる企画や研究開発のような活動において、より非定形的な技術文書が求められます。このような方々には、構造化テクニカルライティングの

キルが、より強く求められるのです。そして、高いライティングスキルを身につけたとき、わかりやすい技術文書の作成が“成果”として発揮されます。わかりやすい技術文書は、非定形技術文書の一つの目標なのです。

3.1 わかりやすい技術文書のメリット

技術者のキャリア形成において、わかりやすい非規格化技術文書を作成することは重要なものでしょう。特に、社外に対するアクションをおこなうような部署、そしてキャリアを積んだマネジメントレベルにおいて、より重要となります。

技術文書は、技術者の履歴書とも言えるものでしょう。以下に、技術者にとっての技術文書の意義をまとめてみましょう。

- 技術文書はキャリアの記録である
- 技術文書は専門性の証明である
- 技術文書は情報整理の成果である
- 技術文書は思考過程を反映する
- 技術文書は知の定着である

このように大きな意義を持つ技術文書ですが、技術者にとって重要なコミュニケーションのツールの一つでもあります。そして、有効なコミュニケーションを行うためには、当然ながらわかりやすい技術文書を活用するほうが好ましいのです。

同じ程度のキャリアを持つ技術者が複数いたならば、わかりにくい技